かしもひのきの家

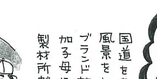
自然のめぐみ や 人の営み ☺

加子母は94%が山です。
その山で長い時間をかけて大切に育てた木も、杣(そま)が伐り出し製材所で美しい材木にされます。
加子母の大工は「100年現役の家」を建てているのです。

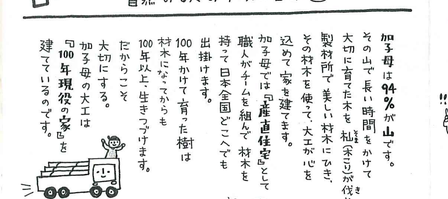
国道を走っていると、木を並べて乾かしている風景をあちらこちらで見ることができます。
ブランド村「東濃ヒキ」の里でもある加子母には10数ヶ所の個性豊かな製材所があります。

東濃ヒキは しっかり手入れされた元気な森から生まれます。
ピンク色でつやがあり 香り高くて ねばりのある良材!!

あっちこっちに製材所!!



植える 育てる 素材づくり 使う 伐る 作る



『木を使う』ことで『山を守る』という考え方

「木を伐る」=「環境破壊」というイメージを持っている人もいるかもしれません。
昔から人は、山の恵みを受けながら暮らし、この繰り返しが、山を元気にし、環境を守ることに繋がるのです。
山も、人が手を入れることで、健康を保ちつつ、人間や動物がお互いにバランスを、とっていたのです。
今、生活スタイルも変わり日本で使われている木材の約9割が外国産です。そして、手入れがされなくなった山は、荒れていき自然災害を引き起こします。
木を伐って使う。そしてまた植えて育てる。

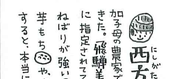
問い合わせ かしもひのきの家住宅展示場 ☎0573-79-3285

山

農業

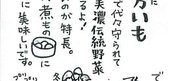
西方いも

加子母の農家で代々守られてきた、磯騨美濃伝統野菜に指定されているよ!
ねばりが強いのが特長。芋ちもち、煮ころがしにすると、本当に美味しいよ。



磯騨牛

加子母の農家で育てられている 美味しい飼い牛。



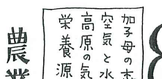
牛

加子母の森が作る空気と水 高原の気候が栄養源

里

加子母の健康ミネラルトマト

甘味・酸味バランスがとれて美味しいだけでなくミネラル分を含み健康に良いトマトです。



名物 おみやげ

●ケイちゃん鶏

鶏肉をニンニクと一緒に醤油や味噌で味付け。モモやハネ五代目などの野菜を焼く郷土料理。
加子母にはケイちゃんの兄弟が何軒かありますよ!!

●朴葉すし

鮒の切り身、キラブキ、椎茸などをのせた、すし飯を大きな朴の葉、ぽっぽ(ほお)だもの。
山仕事などの時に食べます。

●木製品

加子母の職人技の時は明治座の前でも見てます。

道の駅や産直市で加子母の名物をチェック!!

●芋もち

加子母の郷土料理。
加子母名産粉りの強い「西方いも」とお米を一緒に炊きあげ、冷えて丸めたものです。
軽く炙ってネギをのせ、生姜醤油で食べます。もちもちでクリーミーでおいしい。

●かしもの

●トマトジュース・トマトケチャップ

加子母の健康ミネラルトマトを使って作っています。ミネラル分たっぷりの、健康に良いトマトがぎゅっとつめこまれています。

山の神

山の神を祀る。自然崇拝は日本人の信仰心中でも1番古いものです。
加子母の山の中では自然石などをそのまま御神体として祀ってある小さな祠を よく見かけます。
山の奥深くに感謝し、山仕事の安全を祈願してお祀りします。
山仕事の安全を祈願してお祀りします。

松1本首1つ

加子母には、良質な木曽ヒノキがたくさんあったので、江戸時代、尾張藩の御用材として、巣山、留山などの制度を作り守られてきました。
村人は、伐ることはもちろん山への出入りも禁止されました。
江戸時代の厳しい林業政策の結果、加子母の重木曽国有林である「出え小路」は今でも美しい森が残っています。
伊勢神宮で20年に1度行われる式年遷宮の御用材や、自居、姫路城などの伝統建築物にもヒノキを提供し名古屋城本丸御殿の復元にも協力しています。

出え小路

支章

ほお が ついかすまってて あやまちよんで ほえたい。

単語

- ぢい (女の子)
- ぼお (男の子)
- おし (あなた)
- こけ (きのこ)
- ぎっぢ (ゴボウ)
- へっぽ (蜂の子)

わかるかな 加子母のことば?

問い合わせ 市役所(0573)
- 道の駅 加子母 ☎79-3319 AM8:30-PM5:00
- かいも商店市 ☎79-3350
- モクモクセンター ☎79-3333 AM8:30-PM5:00
- 木のなんでも市場 ☎79-3132 AM8:00-PM5:00

加子母の行事

乙女渓谷

MAP ⑥

標高1982m

小秀山

4~9月 山には様々な花たちに出会えます。

シラヤマギク、イワウチワ、ギンリョウソウ、コバイケイソウ、シウリザクラ、ミヤマリンドウ、オオヤマリンドウ、ドウ、ヒエ

夫婦滝

鳥帽子岩

天狗岩

洞窟

根じめ滝

和風の滝

屏風岩

乙女淵

ここまで片道90分のトレッキングコース!!

※この先はちょっとハード! キャンプ場から小秀山までの平均往復タイムは約8時間のロングコース。

5月中旬シホウゲンの群生地

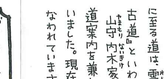
乙女渓谷キャンプ場

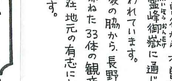
問 加子母森林組合 ☎0573-79-3333

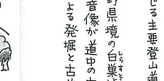
三十三観音像と木曽越古道

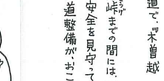
MAP ⑤

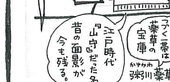
加子母の木曽谷から木曽越峠を越えて、長野県王滝村に至る道は「霊場御嶽」に通じる主要登山道で、「木曽越古道」といわれています。
山内内宮家の脇から、長野県境の白鷺峠までの間には、道案内を兼ねた33体の観音像が道中の安全を見守っていました。現在地元の有志による発掘と古道整備がおこなわれています。









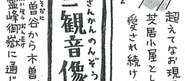


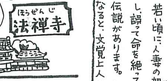
加子母の行事

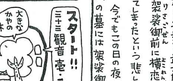
加子母には、各地域ごとの小さなお祭りが毎月のようにたくさんあって大忙し! 中でも大きなイベントを紹介します。

- 大杉地蔵尊大祭 春 5/4(木) 11/24
- なめくじ祭り(九万九千日)旧暦7/9にあたる日
- 加子母の夏祭り(花火あり) 8月中旬
- 加子母歌舞伎公演会 9月上旬
- 水無神社例祭 9月下旬

祭りの前夜、試験祭では各地区伝統の「獅子芝居」がおこなわれます。







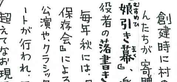
加子母のみどころ

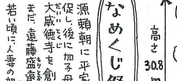
明治座

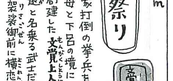
岐阜県重要有形民俗文化財

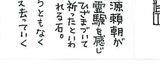
かつて東濃地方には40棟以上の劇場形式の農村舞台がありました。『明治座』は明治初年、加子母の人々によって建てられ、回り舞台や、スポン、西花道をもつ本格的な芝居小屋です。
樹齢数百年、長さ14m以上という巨木を使った梁、創建時に村の娘さんたちが寄贈した『娘引き幕』、楽屋に残された公演チラシやワコンサートが行われ、百歳を超えてなお現役の芝居小屋として愛され続けています。

毎年秋には『加子母歌舞伎保存会』による『加子母歌舞伎』公演が行われます。







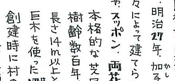


AM10:00~PM4:00 (月曜休館)
☎0573-79-3411
http://mei.i20.jp/ チェックしてね!

明治座は見るべきもの

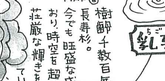
なめくじ祭り

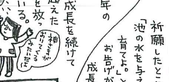
源頼朝に平家打倒の挙兵を促し後に加子母と下呂の境に大威徳寺を創建した文覚上人。
また、鹿籠盛鹿と名乗る武士だった若い頃に人毒の製茶御前に横恋慕し、部下の命を絶ってしまったという言い伝えがあります。今でもこの日の夜になると、文覚上人の墓に製茶御前の化身とされる背中に刀傷のある白いナメクジが、どこからともなく這い出ては、夜明けと共に消えていくという……。
10月7日(九万九千日)に『なめくじ祭り』が行われます。

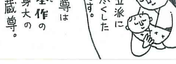


国指定天然記念物 加子母大杉

高さ30.8m







乳子の池

昔、池のほとりに赤児が捨てられていたを、村人が見つけ乳が欲しいと泣いていた。
困り果てて、大杉地蔵尊に育ててもらいたいとお願いしました。
すると、お告げがあり、そのとおりに成長し、親孝行をつくしたそうです。

大杉地蔵尊

御本尊は行基作の等身大の地蔵尊。

文覚上人の墓

錦扉石

源頼朝が電影を飛ばしてまでも祈願したという石。

法禅寺

樹齢千数百年の杉

今でも毎年、成長を続けており、時空を超えた荘厳な輝きを放っています。

祈願の池

池の水を手に、切に願ったところ、お告げがあり、そのとおりに成長し、親孝行をつくしました。

道の駅 加子母

周回13km